

令和2年
火災・救急・救助の概況

岡崎市消防本部

火 災 の 概 況

令和2年中の岡崎市における火災概況は出火件数89件、火災による焼損面積は建物2,125㎡、林野15a、損害額は1億8,829万5千円、火災による死者は6人、負傷者は15人であった。出火件数は、前年から26件減少しており、焼損面積のうち林野の数値については前年から増加しているが、過去10年平均と比較すると減少している。建物の数値については、双方の数値から減少している。損害額についても双方の数値から減少している。（第1表）

【火災概況】 (第1表)

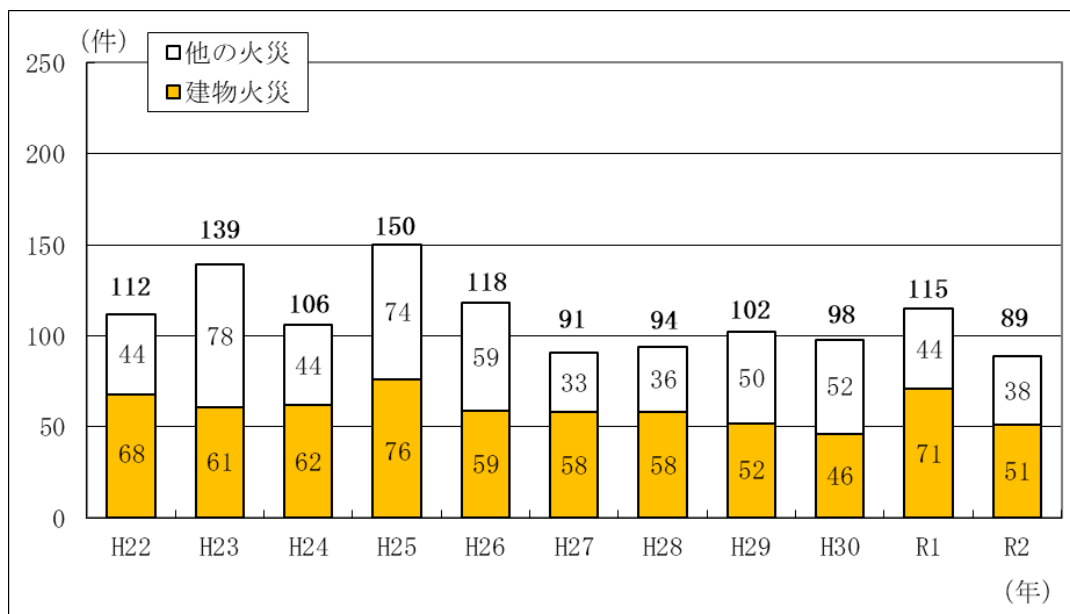
比較 区分		令和2年	令和元年	比較	過去10年平均	比較
		(A)	(B)	(A)-(B)	(C)	(A)-(C)
出火件数(件)		89	115	△26	113	△24
火災 種別	建物火災	51	71	△20	61	△10
	林野火災	2	3	△1	4	△2
	車両火災	9	14	△5	13	△4
	その他の火災	27	27	0	35	△8
焼損 面積	建物(㎡)	2,125	2,959	△834	2,418	△293
	林野(a)	15	6	9	19	△4
損害額(千円)		188,295	396,068	△207,773	225,503	△37,208
死傷者 (人)	死者	6	4	2	3	3
	負傷者	15	19	△4	17	△2

備考 △印は、減を示す。

1 出火件数

出火件数の89件を火災種別ごとにみると、建物火災が51件（58%）と最も多く、以下その他の火災27件（30%）、車両火災9件（10%）、林野火災2件（2%）の順となっている。（第1表、第1図）

過去10年間の火災発生件数 (第1図)



2 損害額

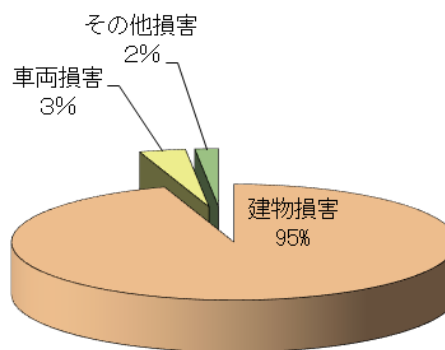
火災による損害額1億8,829万5千円の内訳をみると、最も多いのは建物損害の1億7,905万4千円で全損害の95%を占め、以下車両損害の613万5千円、その他損害の310万6千円の順となっている。（第2表、第2図）

損害額1億8,829万5千円は、前年の3億9,606万8千円と比較すると2億777万3千円の減少であり、過去10年平均の2億2,550万3千円より3,720万8千円下回っている。（第1表）

【損害額の内訳】 (第2表)

損害種別	損害額 (千円)
建物損害	179,054
車両損害	6,135
その他損害	3,106
林野損害	0
合計	188,295

(第2図)



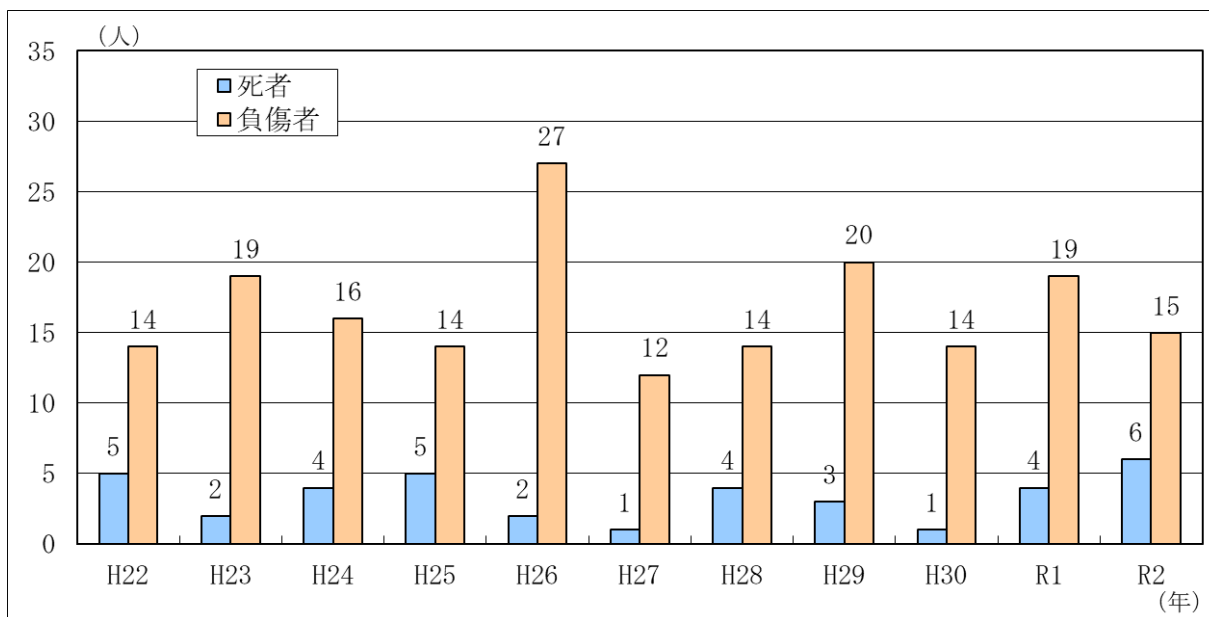
3 死者・負傷者

火災による死者は6人で、前年の4人と比較すると2人増加しており、過去10年平均の3人より3人上回っている。

また、火災による負傷者は15人で、前年の19人と比較すると4人減少しており、過去10年平均の17人より2人下回っている。(第1表、第3図)

過去10年間の死者・負傷者の発生状況

(第3図)



4 出火原因

出火件数89件の主な出火原因をみると、「放火・放火の疑い」が20件(23%)と最も多く、以下「たばこ」が12件(14%)、「たき火」が8件(9%)、「こんろ」が5件(6%)の順となっている。(第3表、第4図)

【主な原因別件数】

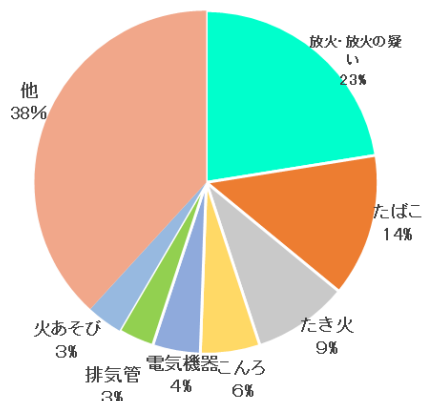
(第3表)

区分 出火原因	令和2年 (件)	令和元年 (件)	比較 (件)
放火・放火の疑い	20	16	4
たばこ	12	9	3
たき火	8	15	△7
こんろ	5(3)	12(5)	△7(△2)
電気機器	4	3	1
排気管	3	6	△3
火あそび	3	3	0
他	34	51	△17
合計	89	115	△26

備考1 △印は、減を示す。

2 こんろの()内は、天ぷら油火災を示す。

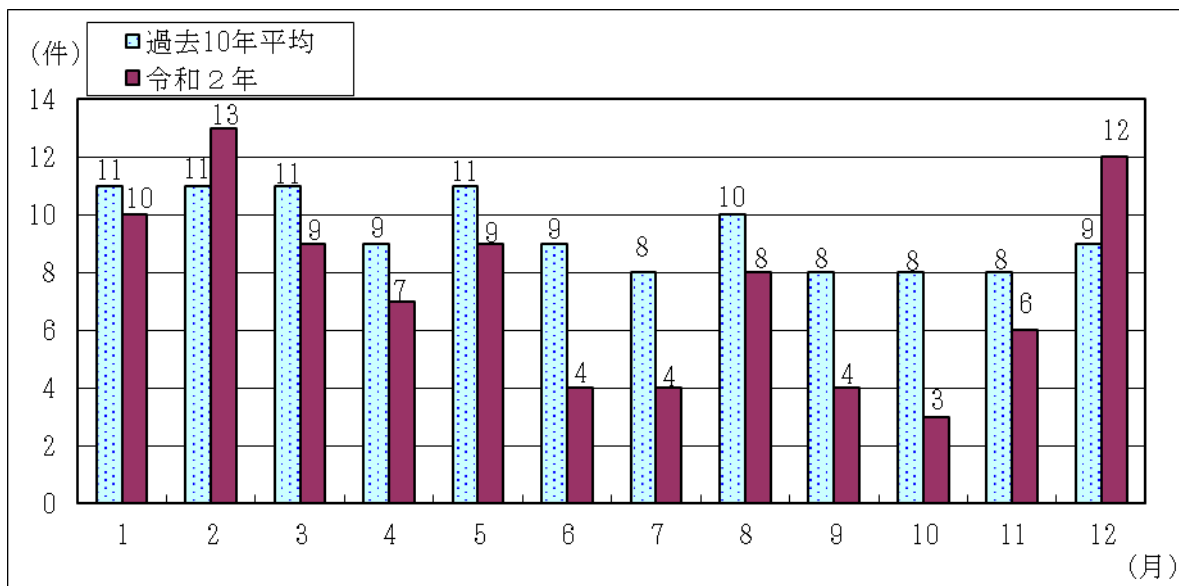
(第4図)



5 月別出火状況

出火件数 89 件を月別にみると、2月が 13 件（15%）と最も多く、続いて 12 月が 12 件（13%）の順となっている。（第 5 図）

月別出火件数 (第 5 図)



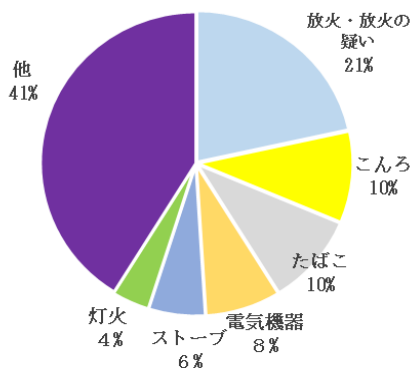
6 建物火災の状況 (主な出火原因)

建物火災 51 件の主な出火原因別をみると、「放火・放火の疑い」11 件（21%）が最も多く、以下「こんろ」5 件（10%）、「たばこ」5 件（10%）の順となっている。（第 4 表、第 6 図）

【主な原因別件数】 (第 4 表)

出火原因	出火件数 (件)
放火・放火の疑い	11
こんろ	5
たばこ	5
電気機器	4
ストーブ	3
灯火	2
他	21
合計	51

(第 6 図)



救 急 の 概 況

令和2年中の救急出場件数は14,616件で、搬送人員は13,545人であった。

前年と比較すると出場件数で1,839件、搬送人員では1,363人ともに減少している。

種別内訳では、急病が9,911件(68%)で、続いて一般負傷が1,880件(13%)、交通事故が971件(7%)の順となっている。水難のみ増加しているが、他の種別については減少となっている。(第1表)

【救急出場状況表】

(第1表)

区 分	比 較	令 和 2 年	令 和 元 年	比 較	過去10年平均	比 較
		(A)	(B)	(A)-(B)	(C)	(A)-(C)
救 急 出 場 件 数		14,616	16,455	△ 1,839	15,306	△ 690
搬 送 人 員		13,545	14,908	△ 1,363	14,194	△ 649
種 別 内 訳	火 災	37	55	△ 18	48	△ 11
	自 然 災 害		1	△ 1	3	△ 3
	水 難	4	1	3	3	1
	交 通 事 故	971	1,128	△ 157	1,390	△ 419
	労 働 災 害	172	173	△ 1	167	5
	運 動 競 技	66	105	△ 39	108	△ 42
	一 般 負 傷	1,880	2,005	△ 125	1,868	12
	加 害	39	45	△ 6	67	△ 28
	自 損 行 為	164	223	△ 59	180	△ 16
	急 病	9,911	11,260	△ 1,349	10,084	△ 173
そ の 他	1,372	1,459	△ 87	1,390	△ 18	

備考 △印は、減を示す。

月別救急出場状況

月別救急出場件数は、8月が1,458件と最も多く4月が1,055件と最も少なかった。1か月の平均は1,218件で、1日平均40件となっており、36分に1件の割合で出場したことになる。(第2表)

搬送人員では、8月が1,365人と最も多く、4月が969人と最も少なかった。

1か月の平均は1,129人で、1日平均37人となっており、市民29人に1人が救急車で搬送されたことになる。(第3表)

【月別救急出場件数】

(第2表)

種別 月別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損	急病	その他				合計
											転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他	
1月	3	0	0	97	10	1	161	3	12	1,013	116	0	0	14	1,430
2月	6	0	0	89	10	4	158	0	7	816	101	0	0	4	1,195
3月	1	0	0	73	12	6	152	4	13	793	92	0	0	7	1,153
4月	2	0	0	57	10	0	130	2	17	741	90	0	0	6	1,055
5月	1	0	0	71	8	1	145	3	19	741	100	0	0	9	1,098
6月	2	0	1	82	17	11	136	2	12	726	88	0	0	13	1,090
7月	2	0	0	77	20	9	143	2	13	840	111	0	0	22	1,239
8月	3	0	0	81	22	11	155	5	12	1,037	120	0	0	12	1,458
9月	1	0	0	78	15	7	151	5	16	792	105	0	0	13	1,183
10月	3	0	0	78	13	6	185	2	15	770	109	0	0	10	1,191
11月	5	0	2	77	13	6	166	5	11	783	105	0	0	12	1,185
12月	8	0	1	111	22	4	198	6	17	859	101	0	0	12	1,339
合計	37	0	4	971	172	66	1,880	39	164	9,911	1238	0	0	134	14,616

【月別搬送人員状況表】

(第3表)

種別 月別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損	急病	その他				合計
											転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他	
1月	1	0	0	95	10	1	150	3	8	920	116	0	0	0	1,304
2月	2	0	0	86	10	4	148	0	5	749	101	0	0	0	1,105
3月	0	0	0	74	12	6	134	4	7	729	92	0	0	0	1,058
4月	0	0	0	55	10	0	116	2	14	682	90	0	0	0	969
5月	0	0	0	63	7	1	135	2	13	679	100	0	0	0	1,000
6月	0	0	0	87	17	10	130	2	8	690	88	0	0	0	1,032
7月	2	0	0	73	20	8	136	2	9	797	111	0	0	0	1,158
8月	1	0	0	90	22	11	141	6	7	967	120	0	0	0	1,365
9月	1	0	0	72	14	7	140	4	10	732	105	0	0	0	1,085
10月	2	0	0	79	13	6	177	2	8	718	109	0	0	0	1,114
11月	0	0	0	68	13	5	155	5	7	737	105	0	0	0	1,095
12月	5	0	0	108	22	4	191	6	12	811	101	0	0	0	1,260
合計	14	0	0	950	170	63	1,753	38	108	9,211	1,238	0	0	0	13,545

救 助 の 概 況

令和2年中の救助出動件数は、168件で救助人員は78人であり、前年と比較すると出動件数は16件の増加、救助人員は13人の減少であった。

過去10年間の平均出動件数は170件で、2件の減少であった。

種別内訳からみると、建物等による事故が全体の43%にあたる73件を占め、続いてその他の事故が40件（24%）となっている。（第1表）

【救助出動状況】

（第1表）

区 分		比 較		過去10年平均 (C)	比 較 (A)-(C)
		令 和 2 年 (A)	令 和 元 年 (B)		
救 助 出 動 件 数		168	152	170	△ 2
救 助 人 員		78	91	87	△ 9
種 別 内 訳	火 建 物	5	3	16	△ 11
	災 建 物 以 外	1		5	△ 4
	交 通 事 故	37	46	48	△ 11
	水 難 事 故	6	1	4	2
	風 水 害 等 自 然 災 害 事 故	1		1	
	機 械 に よ る 事 故	2	3	4	△ 2
	建 物 等 に よ る 事 故	73	63	40	33
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	3	2	3	
	破 裂 事 故				
	そ の 他 の 事 故	40	34	50	△ 10

備考 △印は、減を示す。

月別救助出動状況

月別出動件数では、1か月の平均は約14件であり、12月が26件と最も多く、4月が6件と最も少なかった。(第2表)

【月別救助出動状況】

(第2表)

種別 月別	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
	建 物	建 物 以 外									
1月			1				2	1		3	7
2月	1		4				2	1		3	11
3月		1	6			1	7				15
4月			2				3			1	6
5月			3				6			5	14
6月			4	1			6			3	14
7月	1		2	1	1	1	5			2	13
8月			4				13			4	21
9月			3	1			5	1		4	14
10月			2				5			4	11
11月	1		4	2			4			5	16
12月	2		2	1			15			6	26
合計	5	1	37	6	1	2	73	3		40	168